ナンバリング 授業科目名(科目の英文名) 区分・【新主題】/(ダー 情報科学A								<u> </u>								
「同校科子A E112G018 (Information Science A)									, x	Щ						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語			担当	形態				
			教育学部													
必修	2	2 令和2年度								単独、クラス分け						
			以降入学生用													
業ールと	内線 ピュータの/ なったインク	ターネットの [・]	仕組みやサービ	スを理解	し , インター		基礎知識	- 理解する。また , 情報化された 战とマナーを身につける。さらに Nを体験的に学習する。								
具体的な到								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6 7		
		動作原理を記	説明できる。													
			理において必要			きる。				_		_				
目標3 正しく情報機器を操作し,情報を活用することができる。									_	\dashv			4	_		
	目標4 初歩的なプログラミングができる。									\dashv			_			
目標6	目標5 日標6									\dashv		_	-			
目標7										\neg						
目標8																
目標9										4		_ _	4	4_		
目標10								_	_		-	_	_			
各DPへの関連度(計10)									5		5					
授業の内容 1 情報科等																
		ー]み1(コン)	ピュータの構成)												
3 コンピ	ンピュータの仕組み2(内部表現)															
4 インタ・	インターネットの仕組みとサービス															
	インターネットのマナー・セキュリティ															
		<u>が(初めての)</u> が(変数と計算	-													
		で、多数という														
		<u>(然けりな</u> が(繰り返し														
10 基礎プロ	ログラミンク	「(繰り返し	2)													
		(イベントタ														
		<u>(グラフィ '</u> (ィモ **	ック)													
	ログラミンク ログラミンク	<u>'(flist)</u> 「(イベントタ														
15 まとめ		(1 -2 1)	C-11)													
I ク B:意 ニティ C:応	職の定着・ 見の表現・ 用志向 間識の活用・	交換 応	回,授業内容に じてレポートを		演習問題に取	(り組んでもらう。また,必要に	エ 夫 の 他 の	MSの活用								
授業時間外	準備学		D資料を確認し	,必要に)	応じて予習す <i>る</i>	る(15h)。										
学修の内容 と想定時間	事後学	15-4				コン実習は積み重ね式の授業権 自習して補っておく(15h)。	情成になっ 	っているので,授業時間内に演習	3問題	が完 	成し 	なか [.] 	った [‡] 	易合や		
	想定時間	合計 45														
教科書	授業中に適う	宣資料を配布	する。													
	授業中に適宜	宮紹介する														

参考書

成	評価方					目標	目標			目標	目標	目標	
績	課題レ	ポート	50%	1	2	3	4	5	6	1	8	9	10
価	各回の	演習	50%										
の													
方法													
及													
び													—
評価													
割													
合													
:+	产事店	パソコン実習は積み重ね式の授業構成になっているので,授業時間内に演習問題が完成しなかった場合や,やむをえず欠席した場合は,次回までに自習して補って											
注	意事項	おくこと。											
	備考	受講生の予備知識,理解度,関心の度合いによっては,授業内容に挙げた項目,順序,程度を変更することがあります。											
Į,	Jンク	なし URL											